

VISION 04

ワクワクできる心豊かな体験に満ちた社会

目指す姿

仕事も余暇も心ゆくまでぞんぶんに愉しめる毎日を実現。
あらゆる人の生活のクオリティを高めていくこと。

VISION04の社会を実現するために貢献できる主な製品・取り組み



ヤンマーミュージアム

「やってみよう!わくわく未来チャレンジ」をコンセプトにしたチャレンジミュージアム。ワクワクするような体験を通じて子どもたちのチャレンジ精神を育みます。



フィッシングボート

クラス最大級のフィッシングスペース、新型電制エンジンの搭載および快適な居住空間等、実際のフィッシングシーンに適した仕様を装備しています。



水上パーソナルクラフト「Wheebo」

「誰でも、自由に、ワクワクできる」をコンセプトにしたまったく新しい水上パーソナルクラフト。円形のボード上での体重移動とコントローラーの簡単操作で、水上での楽しみ方を無限に広がります。

関連する主なSDGs



事業の枠を超えた活動での貢献

ヤンマーミュージアム

ワクワクする体験を通じて
失敗してもあきらめない
子どもたちのチャレンジ精神を育む

関連する
主なSDGs



リニューアルオープンしたヤンマーミュージアム

ヤンマーグループは、「A SUSTAINABLE FUTURE」の実現に向けて、事業活動だけでなく事業の枠を超えた「次世代育成活動」に力を入れています。滋賀県長浜市にある「ヤンマーミュージアム」はこの活動の柱の一つとして位置付け、2019年10月にリニューアルオープンしました。

「やってみよう!わくわく未来チャレンジ」を新たなコンセプトに、世界初の小型ディーゼルエンジン開発に成功した創業者・山岡孫吉のチャレンジ精神を受け継ぎ、ワクワクするような体験を通じて子どもたちのチャレンジ精神を育むチャレンジミュージアムです。

チャレンジエリアでは、ボルダリング&クライミングやアスレチック、サッカーなど、カラダを使った遊びの要素を大きく取り入れ、最先端の映像技術を駆使したコンテンツに挑戦したり、パワーショベルの実機を操作してオペレーター気分を味わったりすることで、ヤンマーが考える“A SUSTAINABLE FUTURE”の世界を体感することができます。

施設の2階には琵琶湖の自然環境を再現した「屋根の上のビオトープ」を設置し、専用のタブレットを使ってゲーム感覚で水辺の生き物を探る仕掛けを用意しています。さらに、エンジンの排熱を利用して温めた足湯を提供するなど自然との共生が身近に感じられるようになっています。また、当社グループが進める食プロジェクト「プレミアムマルシェ」の店舗として、Premium Marché BIWAKOを併設し、地元のお米や野菜など新鮮でおいしい食材を使用した季節を感じられる

料理を通じて、より豊かな食体験を提供しています。

地元の小中学校や高校の学校教育に貢献

ヤンマーミュージアムでは、チャレンジエリアのほかに、ヤンマーの歴史や事業、歴代エンジンなどをデジタル年表やグラフィックで解説する展示エリアや、ワークショップやイベントが開催できるチャレンジルームなどを備えています。

リニューアル前から実施している小中学校を対象とした見学会の実施やワークショップの開催は、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響により中断した時期もありますが、今後も引き続き地元の学校教育に貢献していきます。

2020年8月には、長浜北星高校1年生の生徒向けに「新しい未来を創る、チャレンジ精神」と題した講演会を実施。当ミュージアムの館長・山本昇を講師として派遣し、約200名の生徒に向けてチャレンジすることの大切さを伝えました。また、2020年には関西圏を中心に全国から約90校の学校の受け入れを行い、約4,000名の生徒が施設を見学しました(11月30日時点)。

一方、2020年3月には、コロナ禍で休校中の生徒が自宅で楽しく学べるように、家庭学習の一環として当ミュージアムのウェブサイト「おうちチャレンジ」※を開設しました。この取り組みは北海道博物館の活動「おうちミュージアム」の趣旨に賛同して参加しています。

※ おうちミュージアム
<https://www.yanmar-museum.jp/reserve/update/whatsNew/2020/000438.html>



上から時計回りに、ヤンマーミュージアム外観、マイフィッシュマイオーシャン、ざくざく!パワーショベルチャレンジ、屋根の上のビオトープ、MY おむすびプレート

マリン関連事業やマリンスポーツへの協賛を通じて 驚きや感動に満ちた「ワクワク」できる価値を提供

ヤンマーグループは「ワクワクできる心豊かな体験に満ちた社会」の実現に向けて、マリンプレジャーに関連する事業活動やマリンスポーツへの協賛活動に取り組んでいます。釣りやクルージング、マリンスポーツ、スキューバダイビングなどさまざまなマリンアクティビティを心ゆくまで楽しんでいただくため、プレジャーボートをはじめ、フィッシングボート、マリンエンジンなどの開発、販売を通じて、驚きや感動に満ちた「ワクワク」できる価値の提供に努めています。

事業活動を通じた貢献

ヤンマー船用システム株式会社

低燃費・高出力エンジンを搭載し
快適なフィッシングスペースと居住空間を確保した
1クラス上のフィッシングボートを開発



ボートフィッシングのワクワク感を心ゆくまで味わえる「EX28C」

ヤンマー船用システムは、環境に配慮した高出力エンジンを搭載し、充実したフィッシング機能や航走性能により1クラス上の快適性を実現したフィッシングボート「EX28C」の販売を開始しました。

搭載するディーゼルエンジンは、海外でも高い評価を得ている4LV250J。耐久性やメンテナンス性の高さはもちろん、電子制御された燃料噴射により燃料消費を最小限に抑えるコモンレールを採用し、米国EPAの排出ガス規制Tier3の環境性能をクリアした低燃費かつ高出力のエンジンです。

船体はデッキ中央にハードトップを配置したウォークアラウンドタイプで、釣りに最適なスタイリングとデッキレイアウトを採用しています。広々としたパウデッキとアフトラッキ一体型トランサムステップを採用することで、クラス最大級のフィッシングスペースを確保。サイドデッキ（通路）は安心して移動できる高さのブルワークも確保し、安心・快適なフィッシングが楽しめます。

また、キャビンレイアウトは、大人4人がゆったりと座れる居住スペースと良好な視界性により、ポイントまでの移動も楽しめる空間となりました。仮眠スペースや物置として利用できるパウバースは、長時間の釣行も快適に楽しめます。



EX28Cの外観イメージ



キャビンイメージ



4LV250J
※トップカバー、ベルトカバーは
付属していません。

CSR活動報告

より詳しい情報はこちらからご覧いただけます
<https://www.yanmar.com/jp/about/csr/employee/diversity/>



従業員

多様性への取り組み

基本的な考え方

ヤンマーでは「国籍・性別・年齢を問わず、世界で通用するプロフェッショナルな人材の確保」を目的に、多様な人材を採用し、ダイバーシティに取り組んでいます。ヤンマーにおけるダイバーシティとは、ライフスタイル、文化、キャリア、国籍、性別等の違いを受け入れ、尊重し、その能力を最大限活用することによって企業パフォーマンスを向上させることを意味しています。そのような一人ひとりの能力、個性、価値観が生かされる組織を目指し、グループ全社員が働きがいと誇りを持てる企業づくりに取り組んでいます。

TOPICS

ヤンマーホールディングスに ダイバーシティ推進グループを新設

ヤンマーグループにおけるダイバーシティの取り組みをより強化して推進することを目的として、2020年4月、ヤンマーホールディングス人事部に「ダイバーシティ推進グループ」を新設しました。

今後、①Diversity&Inclusion Policyの策定と展開 ②社内におけるダイバーシティの浸透および社外への情報発信 ③ダイバーシティにおける関連制度の導入や改善を軸として活動していきます。

女性社員が多方面で活躍できる 職場環境の整備に取り組んでいます

ヤンマーは、2020年3月末現在、従業員数3,811名のうち、女性社員は510名（13.4%）となっています。

2019年度の新社員（総合職）における女性比率は11.8%でした。ヤンマーの主軸事業はエンジンをはじめとし

た機械分野で、これらを専門とする女性は少ないですが、社内にはさまざまな役割があるため、多方面での女性の活躍を見据えて採用を行っています。

採用活動においては、女性リクレーターも積極的に登用し、就職活動中の女子学生に向け「女性社員との座談会」などを実施しています。

現在、ヤンマーでの女性の管理職比率は2.7%ですが、人数は年々増加傾向にあります。ヤンマーにおいては、女性の管理職21名（グループ会社社長1名、部長4名、課長16名）が活躍しており、男女平等に評価される制度・風土が整っています。

障がいを抱えた社員が安心して働けるよう さまざまなサポート体制を構築しています

ヤンマーグループとして、障がい者雇用を推進していくため、2014年4月にヤンマーシンビオシスを設立し、6周年を迎えました。特例子会社※1として、2020年3月末時点で57名の障がいのある方々が元気に働いています。

2020年4月のヤンマーの組織再編にともない、グループ適用企業が、6社から8社※2となりましたが、障がい者雇用率は、2020年3月末現在（組織再編前）で2.25%となり、現行の法定雇用率を達成することができました。今後もさらなる事業拡大を図り、2021年度に予定されている法定雇用率のアップを視野に、2020年度の目標を2.3%以上に設定しています。

※1「特例子会社」とは、国から特別に認められた制度であり、障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立することにより、グループを一つの企業とみなして、雇用率を算定することができる制度

※2 ヤンマーホールディングス、ヤンマーパワーテクノロジー、ヤンマーグローバルエクスパート、ヤンマーアグリ、ヤンマーアグリジャパン、ヤンマー農機製造、ヤンマービジネスサービス、ヤンマーシンビオシス

実績（2018年度／2019年度）

女性管理職比率

実績 2.0% > 2.7%

障がい者雇用率

実績 2.28% > 2.25%